



# AIIC 粘菌の会 会報

第 17 号 令和 2 年  
2020 年 9 月 1 日発行

コロナ危機全面解除より早、2か月が過ぎました。一向にその不安は続いています。早期終息と平穏な日常を願うばかりです。

8月、夏休みの活気ある情景も、今年ばかりは制限や縮小といった我慢の頃となりましたが、「粘菌」に親しむ仲間達はそれなりの「発見」がありました。1000年前の人々も安寧や幸せな暮らしを祈ったとされる「奈良の大仏様」のもとで観察会を楽しむことができたのです。



Mさん家族の温かさが伝わる看板です。会にとっては何より嬉しく、博物館への道しるべとして、光ってくれることでしょう。ありがとうございます!!



**8/8 夏休み観察会**  
・博物館内での顕微鏡観察  
・車で10分ほどの大仏様の境内での野外観察  
写真上 キンチャケホコリ  
子実体形成の様?  
中 シロススホコリ  
下 ムラサキホコリ  
☆粘菌発見です。  
これから期待の所です。



東国古交差点に設置

**歴史「奈良の大仏」一市指定文化財一**  
平安中期 931 年、平将門は人々の幸せを祈り、この地に金銅仏の大仏を建立しました。その後2~3度と造りなおし、江戸時代1804年、台座に立つ石仏となりました。東日本大震災では被害を受け、現在2,58メートルの穏やかな表情で幸せな私たちの暮らしを祈ってくれています。  
☆平将門 関東の豪族(かつては宮家につながる子孫でしたが……)  
東国(関東)の独立を願い、また奈良(関西)の東大寺大仏を模して、この市原に「奈良の大仏」を建立した、といった説があります。  
ちなみ地名は市原市奈良字大仏台です。

## 行事予定

9月5日(土) 例会と食事会  
11時半 博物館集合  
☞詳しいことは近日中にお知らせします。  
今後 秋 10月に観察会の予定  
11月エコメッセ出展はまだ  
未定です。(コロナ状況?)  
文責 中村(良)